

SPY SCOOP 19

車界の断層

警察を本気で改革するなら

オレたちにやらせる!

特別鼎談



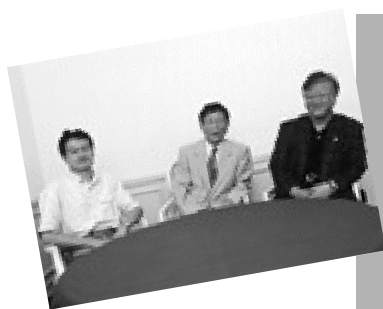
ジャーナリスト
寺澤有



事件記者 &
コメンテーター
大谷昭宏



作家
宮崎 學



まとめ：編集部
写真：丸山秀和 (Hidekazu Maruyama)

神奈川県警が組織的に覚醒剤汚染を隠していた事件が発覚してから1年。その後も警察の不祥事は後を絶たない。それを受けて出された警察刷新会議の提言に、ほんとうに効力があるかどうかも未知数だ。そもそも一連の不祥事は、犯罪を犯した警察官たち個々の責任か、それとも現在の警察がかかえる構造的な問題なのだろうか？現在の腐敗した警察に、刷新「改革」はできるのだろうか。警察に関してオモテモウラも知りつくした3人の論客が斬る。

警察を本気で改革するなら オレたちにやらせろ!

外部からのチェックを あえて避けた警察

警察の不祥事が続いています。

警察刷新会議の提言も出されたこともふまえて、はたして警察が改革される可能性はあるのか、ということをおおいに語っていただこうと思います。まず、現在の警察の仕事ぶりについての感想からあうかがいしたいのですが。

大谷 だいたい警察なんて仕事しなかつたっていいんだよ(笑)。ちゃんと仕事をしてくれなんてだれも頼んじやいねえものなあ。

寺澤 きつとそう言つと思いましたよ。

大谷 いや、冗談はさておいて、一連の不祥事を受けて、しつかり仕事しろ」と世論が言つのはすくましくことです。警察が市民社会の中に入り込んでくる危険性がある。例えば、新潟の少女誘拐監禁事件に関して、9年間に3回も巡回連絡に行つていたのに、警察が少女を発見できなかったことを朝日新聞が批判していたでしょう。いちいち住民票の記載と同じ数の人間が住んでいるかどうか点検されたら、市民はたまつ

たものじゃない。

宮崎 実体験に基づいて、ごく当たり前にいえば、日本の警察には知的能力が不足している。

寺澤 そう言つちゃ終わりですね。

宮崎 終わりなんだよ、彼らは。オレはそつという意見ですよ。

寺澤 最近の警察の状況についていえば、7月の警察刷新会議の提言を受けて、8月25日に警察庁が警察改革要綱というのを決定したわけですよ。この内容は、要するに予算をぶんどつて警察官を1万数千人も増員するんだということです。

大谷 すると警察官は今、24万人くらいいるわけだから。

宮崎 26万人くらいになるんだな。

寺澤 職員を入れたら現在でも26万人くらいで、限りなく30万人に近づいていく傾向にある。要するに、警察は今回の警察刷新会議の提言で、むしろ組織としては肥大化、つまり焼け太りするという結果になつてしまつたわけですよ。だから、警察はちゃんと仕事しろなんて言っている

と口くなことはない。

宮崎 でも、あの刷新会議のメンバーを見れば、当初から警察が焼け太りするのとは明らかなわけであつて、



大谷昭宏 おおたに・あきひろ) 大阪読売新聞の記者時代、大阪府警の捜査1課担当を長く務めた伝説的“サツ回り”であり、数々のスクープをとばした。フリーのジャーナリストとなつてからも反戦・反差別を柱に広く社会問題の報道を続け、最近ではテレビのコメンテーターとしても



宮崎 学(みやざき・まなぶ) 名門トビ職の家に生まれた。戦後の日本裏面史を知る生き証人的な存在といわれる。自伝的小説『突破者』には、学生時代の闘争や土建屋時代の談合破り、企業恐喝などのエピソードがいついっだ。時効となったグリコ・森永事件では「キツネ目の男」の

警察の不祥事に対する批判が、社会的に風化するような、その時間を待たせていただけでしょう。あんな提言なんて2分もあればできるよな。会議なんかしなくても。

大谷 うん、そつだ。

宮崎 だいたい後藤田(正晴)元警察庁長官)が会議のメンバーに入っているのは、どついつわけなんだというところになるわけであつてね。風が吹けば桶屋がもうかるみたいな話にすぎない。後藤田がもともと身内だった警察を厳しく批判できないのは当たり前だろう。ほかのメンバーを見回しても、大宅映子はジャーナリストじゃないし。

大谷 中坊(公平)「住宅金融債権管理機構社長を務めた弁護士」はどう?

宮崎 それは論外。日本のファシストですから問題外の人物だね。

大谷 アサヒヒールの樋口廣太郎と日本テレビの氏家斉一郎なんてメンバーもいる。

宮崎 たいしたメンバーだよ。

大谷 なんてビール屋のおっさんが警察のことをやるのだらう(笑)。

宮崎 それは警察がよくビールを飲んでくれるからじゃないの(笑)。

——警察側が選んだメンバー構成は当初から問題ありとは言われていました。結果としてこの警察刷新会議はどんな意味を持っていたとお考えになりますか。

宮崎 もともと今回の刷新会議のポイントが、「外部監察」をしたくなかつた、ということなんだよ。ポイントはその点なんだ。構成メンバーも外部監察をしないためだつたわけですよ。オレと大谷と寺澤を入れればよかったなあ。

大谷 うん。そつしたらほんとうの意味での刷新会議になつたな。

宮崎 でもそつなつたらつづぶれてい

るよ、警察は(笑)。

寺澤 だけど今ごろには、新しい警察が誕生することになつてそのほうがよかつたんじゃないですか。ほん

とうの意味で新しい警察が。

大谷 刷新会議の提言についてオレがいちばん問題だと思うのは、国家公安委員会に提言した点だ。我われは国家公安委員会だつて改組して外部の団体にしろと言っている。現在は、警察だけでなく地方公安委員会も含めて国家公安委員会もなれあいの組織になつている。そんな公安委員会に提言してどうなるのか。

刷新会議の提言は 便所の落書き

この提言に警察が抱える問題の一端が表われているというわけですね。

宮崎 だが、現在の警察の問題を語るるとき、刷新会議の問題はひとつの部分にすぎない。なぜ不祥事が起こるのかという本質を議論しなければ。対症療法的にどつこう言つたつて、意味のない議論になつてしまつて。その本質とは、日本の官僚が持つている悪い体質や問題点が、いちばん警察に現れていると見るべきなんじゃないかなと思つたんです。その本質が刷新会議の結果によつて、より大きくなつていく構造の中では、永遠にその本質は改まらない。そういつ前提で議論をすべきなんじゃないかと思ひます。

——不祥事が起きる原因、本質についてみなさんはどう考えられますか。

大谷 一連の不祥事は、いつならば末期ガンなわけですよ。それを、脳外科の医者に行つて、頭にガンがあるとと言われて、その次に消化器の医者に行つて、胃袋にも大腸にもみなガンがあるとされたようなものです。ほんととは多臓器不全で全部にガンが回っているのに、みんながんでバラバラにここが悪い、あそこが悪いと言っているようなものだ。出てくる論調が旧態依然として、公安警察への偏重とか、試験制度に問題があるとか、キャリア制度に問題があるとか、馬鹿のひとりおほえみみたいなことを言っているわけですよ。

だいたい、こんなおんぴりした世の中では、1970年代に比べて公

<警察刷新会議の提言の骨子>

- ・情報公開のガイドラインを定める。警察庁の訓令、通達とはホームページに掲載する。不開示の情報は犯罪の予防、捜査に支障を及ぼす恐れのあるものなどに限定する。懲戒事案の発表はその範囲と内容を明確にする。
- ・警察への苦情申し出制度を創設する。警察・公安委員会に対する文書での苦情申し出について、処理結果を文書で回答する。
- ・管区警察局に「監察部」を設けるなど監察を強化する。
- ・公安委員会に監察についての個別、具体的な指示権を与える。公安委員会は警察本部長の監察が不十分なときは是正し、第三者的な点検機能をはたす。
- ・相談体制を強化する。空き交番を解消し、相談業務担当の警察職員を増配置する。
- ・警察署評議会(仮称)の設置。この評議会は警察署ごとに地域の有識者で構成され、住民の声をくみ上げられる仕組みをつくる。
- ・名札や識別章を身に付けることでの窓口担当職員とその責任者の責任を明確化する。
- ・キャリアの現場研修の延長など人事教育制度を改革する。キャリア警察官の警視昇任までの期間を2倍程度に延長、警察本部長への一律登用を排除する。
- ・合理化を前提に地方警察官を増員する。

<刷新会議のメンバー>

座長	氏家 斉一郎(日本テレビ放送網社長)
座長代理	樋口 廣太郎(アサヒビール名誉会長)
委員	大森 政輔(前内閣法制局長官)
委員	大宅 映子(ジャーナリスト)
委員	中坊 公平(弁護士)

安警察の価値なんていつのは急速に落ちてきているわけだね。だからオウム真理教の事件が公安警察の支えだったわけじゃないですか。キャリア制度が問題だというのなら、1954年に自治体警察が分かれた時から問題が起きているわけで、それを部分的にとらえて、ここが悪い、あそこが悪いと言ったって、仕方がない。カラダ全部に毒が回って、ガンの末期症状になっている。

だから、今回の不祥事は、警察がまともになれるかどうかの最後のチャンスだったハズですよ。それを警察刷新会議というバカな医者が腹を開いて、大あわてで閉じちゃったわけだ。刷新会議というのは、いかならば末期ガンの患者を殺しちゃった最後のバカ医者ですよ。

寺澤 いまの大谷さんの言い方を借りれば、警察刷新会議は、「末期ガンの患者に覚醒剤をばはん打ちま

くっているバカ医者」のようなものじゃないですか。それで警察はいちおう、元氣を取り戻したように装っているような、そういうことかなと思うんです。

宮崎 さっき言った警察の本質の問題に関わりますからね。ときどき起こる不祥事というものが、たまたまそこにいた警察官の心がけが悪いから起こったものなのか、それとも構造的に出ているものなのか、まずこのへんからひとつやらなければいけない。次に、職業としての警察官というものをどう見るかということ。議論しなければ、警察官は税金をもらって泥棒や人殺しをつかまえる職業であって、実は公務員以上ではないんです。そういう点で、ボクが言っているのは、まず警察官の不祥事というのは、構造的に起こっているもの、であるという点です。

だいたい、警察官が泥棒や人殺しをつかまえることを礼讃すべきではない。ボランティアの人が、たまたまそこにいた放火犯をつかまえたというのであれば、それは正義の行動なんですよ。しかし警察官は給料をもらってやっているんだもの。警察官がやっている行為に付加価値をつけて、それが正義だとか、清く正しく美しい人たちであるというようなことを言うこと自体が、まず最初の彼らの社会的存在に対する大きな誤りになる。それはカネをもつけようと思ってるやっすりなことであって、それ以外のものではない。だから、対症療法的な話しても、あんまり意味がないのではないかとボクは思っています。

大谷 区役所の窓口のおっちゃんやハンコを押しているのと、警察官が泥棒をつかまえるのは同じことじゃない、仕事だもの。警察官が人殺しをつかまえて偉いってほめてやるんだと、



寺澤有(てらさわ・ゆう) 警察を語らせたら若手ナンバーワンのジャーナリストで、聖域にされがちな警察や裁判所の腐敗を糾弾するのは定評がある。盗聴法の「無効確認」を訴える訴訟を起こしているほか、警察と交通安全協会のゆ着を指弾する運転免許更新料裁判では、原告の

つたら、窓口のおっちゃんもほめてやらにやいかんわけだ。オレがテレビへ出たって誰もほめてくれないじゃない。寺澤が原稿を書いたって誰もほめてくれない。それと同じことで、警察官は社会正義を具現するんだとか、能書きを垂れるからおかしくなるわけだよ。

もしも、ほんとうに警察を刷新するんだとすれば、「外部監察」を入れること、それから「利権漁り」と「天下り」をやめること。この3つを押さえちゃえば、警察はちゃんとした組織になるかもしれない。これらをやめたくないから刷新会議をつくったわけですよ。提言には、警察官が名札をつけるとか、苦情相談窓口をつくるとか、警察評議会なんかが並んでいるけど、クソの役に立ちやしない。そんなまやかしの、末期ガンの患者にシャブ(覚醒剤)を打つというようなことをやめて、なぜガンが発生したかという原因をみないといけない。そうすれば、外部監察がないことや、利権漁りと天下りがあることに行き当たる。しかも警察にはもともと非常に質の悪い者が入っている。体質的に悪い、程度が低い、という患者なわけですよ。

とりあえずそのガンを発生させている3つを取り除かなければ意味がないのに、それをやられたくなかったわけですよ。お医者さん、なんとか動弁してください、本質は見やぶらないでください。

——そうすると、お三方とも、この前に出た刷新会議の提言というのは、どれも言ってみれば対症療法的で、本質的には変わっていないという認識で一致されているんですね。

宮崎 対症療法にもなっていないと思う。駄文だな。

大谷 もっといけないことは、そうやってこまかそうとしていることです。

宮崎 単なる駄文がそこに書かれていたというだけの話です。便所の落書きと一緒に、そんなもの。

現在の警察はいちど解体すべき

本質的な刷新のために、外部監察を入れること、利権漁りをやめること、天下りをやめること。3つのハシラが出ましたけれども、逆に言ったら、それを実現するための方法はあるのでしょうか。

警察を本気で改革するなら オレたちにやらせろ!



宮崎 ない。

大谷 簡単な話 禁止すればいいじゃない。これはなにも警察だけじゃなくて、あらゆる公務員は、退職したら生涯再就職するなというところにすればいい。そのかわり退職金をやるからあとは遊んで暮らせ、と言っしかないわけですよ。しかも65歳まで働かせてやると。公務員の再就職禁止といつことをやらない限り、絶対だめなんです。利権なんてのは簡単な話で、警察はとっつかまえばいいだけの話ですよ。

寺澤 警察庁のキャリアには、つかまえるだけじゃだめだ。我われがパチンコ業者でもなんでも正しい方向へ導いてやらないと」という考え方が強い。これが業者とのゆ着や利権を生む。

宮崎 これまでにいろいろ不祥事があつたんだけど、その処理がどうだったのかということを検証してみる必要があるんだよ。例えば、神奈川県警の事件は刑事告発、起訴されているんだけど、全部在宅起訴ですよ。身柄の拘束はせず、なおかつ判決は執行猶予。そういう点では完全に司法もおかしくなっているわけだよ。そもそも警察や検察が身柄を拘束するいちばん大きな理由

は証拠隠滅の恐れや逃亡の恐れがあるかないかということだ。身柄を拘束する時の理由はこのふたつだよ。この不祥事からんで神奈川県警は、証拠を隠滅しているわけだよ。証拠隠滅している人間なんぞを、なぜ在宅起訴ですますのか、という問題がある。つまり、法の下の平等というのは日本においてはもはや崩壊したといつふうに見えるべきなんだよね。さらにもうひとつ、この国の利権の構造がある。ボクは警察の利権というのは、許認可権から生まれていると思うんだよ。

寺澤 そつそ。

宮崎 もっと厳密にいうと、例えば公安委員会というのは、今ほとんど警察のカイライというか、実質的には何ら役割がないわけだから、公安委員会の出す文書というのは、警察官が書いているわけだ。公安委員会イコール警察だよ。フソクのソーランドに許可を出すのは、最終的には公安委員会だけれど、実質的に警察が出しているわけだ。でも、ソープで売春という違法行為が行われていることはだれもが知っているわけだよ。違法行為があるといつことを知りながら許可を出している問題がまずある。その次の問題は、それを取り締まるのも警察だといつことだ。つまり入口から出口まで全部が警察の手の上にあるわけで、そこに利権が生まれる理由があるわけ。つまり利権の構造というのは、彼らの許認可権に基づいている。だから彼らから許認可権を取り上げればい

警察にちゃんと仕事をしてくれなんて、だれも頼んじやいねえものなあ（大谷）



”警察刷新会議のポイントは外部監察をやりたくなかったといつことなんだよ（宮崎）

大谷 つまりパチンコ屋の許認可権は通産省に戻せばいいわけで、ソーランドは保健所に戻せばいいわけです。

宮崎 風営法が改正になって、スナックなどの許認可も、保健所から警察に変更になっているわけでしょう。そこに問題があるわけなんだよね。だから元に戻せばいい。

大谷 現在を江戸時代風にいえば、お奉行様が売春宿と博打場を経営しているんだよね。そんなバカな話はない。

宮崎 警察が腐敗するいちばん大きな理由はそこにあるんだよ。最近の不祥事の報道でも、公安警察は意外と出てこない。やっぱり許認可権を持つている生活安全課とか、かつてマイナーな部署だった交通課のような部署が、許認可権という権限を与えられて、有頂天になってカネ漁りをしていっているという構造があるわけ

だ。そついつことを考えていくと、不祥事が連続して起こっている警察組織を、少し変えればよくなるなんて考えを持たないほうがいい、といつことだよ。いったんガラガラポンしなければだめだと思うよ。

警察を徹底的に 解体してしまつ方法

寺澤 じゃ、やはり私が以前から言っているように、警察清算事業団をつくって、いったん26万人の警察官の全員をとりあえずそこに入れると。

宮崎 うん。それでみんなクビにすればよい。

寺澤 そつそ。2年後でも1年後でもいいと思いますけれどもね。その方法をやるしかないですよ。

かつてあった国鉄の清算事業団みたいな組織ですか。

大谷 その間の治安はどうするんだ。強盗が走り回るぞ。

宮崎 その間はヤクザが引き受けますよ。まだマシかもしれないよ、警察よりは（笑）。

大谷 警察を分割民営化が。

寺澤 具体的に言えば、とりあえずは第二警察をつくるんですよ。そこにまともな警察官だけ吸収しつつ、そこから漏れた警察官は警察清算事業団に送って、ピーボくん人形（警視庁のマスコット）を売らせようという方法ですよ（笑）。

大谷 それをやるつとするとまた調整でもめるぞ。

52

車界の断層

「存じのとおり8月15日から盗聴法が施行されて、これがまた警察にとっては大きな武器になると思うのですが。」

宮崎 メディアの人たちはお目こぼしの中でいけるだろうという意識のほうが高いように思いますよ。権力にわりあい近いところにいるから。ただ、盗聴法に基づく利権もまた生まれてくるだろうとは思っています。その最大の利権というのは、無差別に盗聴にかけて、メリットのある情報だつてあるわけです。例えば、企業の情報というのは、対立、競争する相

警察官はみな悪事を働いている

けをしよつと思つたら、警察に山ほどカネを積むわけです。

そういつことばかりやっているから、本質的に警察を刷新するためには利権とひと言で言つたけれど、交通を含めて行政権限をすべて取り上げなさいということです。例えばある道路を一方通行にするかどつかの決定を公安委員会にやらせなくたっていいわけです。運輸省に持つていっちゃったらい。あるいは都道府県でもいいわけです。



きつとそういつつと思ひましたよ（寺澤）

手企業にとつてみたら、ものすごいおカネの価値が生まれるわけでしょう。そこで当然ボクはまた利権が生まれてくると思いますよ。単に個人的に盗聴されていることが怖いとか怖くないとかいう問題ではなく、腐敗している警察は新しい武器をもらつたら、腐敗の道具に使いますよ。

大谷 盗聴法と個人情報保護法をセットに考えないとだめだと思つてですね。これをセットで考えられなく寺澤なんかライターの商品がでなくなるわけですよ。というのは、（内部告発でリコール隠しが発覚した）三菱自動車をはじめとして、日本の企業は内部告発でヒイヒイ言っているわけですよ。企業も警察も、官全体が内部告発に非常におびえているわけですね。盗聴法はそつた内部告発をする人間を、まず恐れさせるわけです。新聞社にタレ込もうとしても、「これは絶対聞かれていゝ」といふおびえを国民に与えるわけですよ。例えば寺澤が登記簿をあげたら、何カ月かかつてどんな資料をあげたのかといふことを、要求に応じて出さなければいけないという法律でしょうが。だから、これを個人情報保護法とセットで警察に武器にされたら内部告発はこなくなつて。つまり、警察も大蔵省も厚生省も内部告発に懲りたわけですよ。ほかに、オレは盗聴テープを持っている、といふてカッアゲをやる警察官が増えるだろう。バカな警察官にカッアゲの材料をやつたよつなものですよ。

宮崎 シャブの横流しみたいなこと出てくると思つて。

大谷 出てくる。取り引きの電話連絡を聞いておけばいいんだから。

宮崎 いや、そうじゃなくて、押収したシャブがあるわけだよ。警察官の覚醒剤汚染というのは、けつこつ進行していると思つて。

大谷 いや、預かつてたのは検査だから、検事がやってくるかもしれないよ。だって京都府警のシャブ汚染はそれじゃない。あれは買ったのではなくて、てめえらが取り上げてきたやつだから、タダじゃない。

宮崎 ある地方の警察では、「シャブ何グラム持つてこい」と暴力団の組事務所に通話するデカ（刑事）がいるといふんだよね。それで、届けていたんだってヤクザが。

大谷 まあそれは上納金みたいなものだ。

宮崎 ところが、ある時届けなかつたら、組事務所に通話するデカ（刑事）が（家宅捜索をくらつた）笑。

大谷 それはガサ入れじゃなくて、警察が泥棒に來たんだらう（笑）。

宮崎 そついつことがあんなじゃないの、いっぱい。だから、心がけの悪い警察官がたまにいたから不祥事が起きているのではなくて、警察自体に構造的に起つていゝことなんですよ。そこをどうするか見ないと、中にはいいお巡りさんもある、なんて話になつちゃうわけだね。

大谷 オレ、オレ笑。

宮崎 警察官は、必ずなんか悪いことをやっているよ。

大谷 これまでの不祥事は、全体から見れば、ほんのひと握りの警察官が悪さをした」といわれているが、そうじゃなくて、警察官はみんな悪いことをしているんだけれども、「ほんのひと握りいい人がいる」といふことかな笑。

宮崎 いや、みんな悪いことをしているんだけれども、ほんのひと握りの人がバレちゃう、という構造だよ。

大谷 こころへんの意見はいつも分かれるんです。

寺澤 大谷さんはそう言うけど、いい警察官なんていないですよ。だから、警察はもう解体するしかないですよ。警察清算事業団 をやりましようよ。日本の治安なんかもうこれ以上悪くなりようがないんだから。警察がなくなつたら、逆に治安がよくなつちゃうたりして、そついつ可能性すらあると思ひますよ。

宮崎 そつといえば、東京でジャバゆきさんやつて、オーバーステイで強制的に帰された人を取材したことがある。ジャバゆきさんだから売春しているわけだよ。

大谷 それはそつたな。

宮崎 そこは違法行為なんだが、そのジャバゆきさんが、いちばんくやしかつたて言つてたのは、「若い警察官が部屋の中に突然入つてきて、体をもてあそんだらうにあり金を全部持ていかれたこと」だて。そついつ構造に今の警察はあるんだからさ。もついかんともしがたい状況である、といふことをまず前提にしないでとらえようとするかといふことを考えればいいわけ。刷新会議の提言なんかは駄文で、便所の落書きにしとておけや、といふ話であつてね。

警察の本質は組織的な犯罪集団

警察の構造を打破するために、具体的にはどのような破壊のやり方があるのでしょうか。

大谷 たしかに、国鉄がJRに変わったときのように清算事業団をつくるのがいいかもしれない。だけど、すぐそつはいかない。外部監察だつて今のままではお題目みただい。とりあえず病状は進行しているわけだから、オレは国家公安委員会は認めないけれど、国会ががんばつて、定員を増やすことを考えてもいいと思ふ。なにも公安委員会の定員が5人なんて決まつてないわけだ。彼らへの報酬が1億円なわけだよ。5人で世の中には500万円でも300万円でも、公安委員会の仕事ぐらいいしてあげましようといふ人がいくらでもいるわけだ。その中に、犯罪被害者の親を入れるとか、ストーカーの被害にあつてゐる女性の代表を入れるとか、利権でひどい目にあつてゐる人を入れるとか、そつすれば警察をチェックできる20人の国家公安委員会といふふうに変更することもできるはずだ。

宮崎 大谷さんの意見はわかるけれども、警察の腐敗の深まりを考えると、対案を提起するよつな時期ではないのではないかと。対案提起したら刷新会議みたいなふうになつちゃうわけだから。

大谷 だから、いま言つたよりもまじな対案を出せばいいわけだ。

宮崎 要するに対案のレベルを出ないわけですよ。対案といふものが出たら、必ずそれが焼け太りに作用するといふ、日本の官僚の構造を考えれば、ボクはこれは皆さんと意



「いや、ひと握りの悪事が
バレているだけだよ(宮崎)」
「警察官はみんな悪事をしているが、
ひと握りはいい人がいる(かな大谷)」

見の違つところかもしれないけれど、警察の徹底した破壊にあると思ふんだ。破壊といふのはつまり、徹底した不正の暴露だよ。まずそれがどこまで徹底してできるかということ、その中で見えてくるものがあるだろう。こゝろ思ふんだよね。警察のやつっている違法行為というものを徹底的に暴露する。それに関して、彼ら自身内部からの情報提供が腐るほど来ると思いますよ。現に來ているしね。そこそこでもってその情報に接した我われが遠慮会釈なく叩くことだと思つ。大谷 それは必要だと思つよ。それと検察を叩くこともな。宮崎 検察も裁判所も問題がある。警察官の犯罪が裁判で裁かれると、判決は通常よりおおよそ五割安。みんな執行猶予がつくよ。だって、神

奈川県警のシャブ揉み消しだつて執行猶予付きの判決だよ。普通シャブにさわつたヤクザだつたら、実刑で懲役5年はくらつよ。大谷 そつだろつな。宮崎 だから裁判所も、身分で判決を出している。つまり、身分法の考え方になりつある。ヤクザだつたら悪いんだ、警察官だつたら正義なんだ、といふことを前提にして判決を出している。つまり法の下の平等をいちはん壊しているのは今の裁判所だと、オレは判断しているわけだよ。だから日本の今の国家の中で、検察関係、司法まで含めて、まともな法の下の平等を貫き、法の下に厳正な措置をやっているところなんて全然ないといふことなんだよ。

大谷 だいたい神奈川県警のシャブ揉み消しは薬物犯罪だろう。組織ぐるみて証拠をいん滅したんだろう。といふことは、これは組織の犯罪対策の第一号なんだ。元は薬物で、組織的に証拠いん滅をやつて……。宮崎 これも身柄は不拘束で、在宅起訴のすえに執行猶予だつたな。大谷 そつすると、これからの組織的薬物犯罪はそうせいや、といふ前例になる。以前はこれやつて執行猶予になつたやないかと。証拠いん滅を大組織でやつたわけですよ。宮崎 反復継続しているから、破壊活動防止法をかけりやいいんだよね。警察官僚から代議士を出しているくらいだから政治目的があるし。大谷 そして、組織的、反復的にやつている。宮崎 うん、反復継続してやつてい

公安委員会の定員を増やして、
犯罪被害者の親やストーカー被害者の
代表を加えるべきだ(大谷)



る。大谷 そつすると、警察が最初の破壊法指定団体だ(笑)。寺澤 とまかくですね。警察を取り締まる警察といふか、警察を取り締まる機構をつくるしかないですね。取り締まり担当者が10人くらいいたら、けつこう派手につかまえるんじゃないですか。キャリア警察官にとりあえずしぼつてやつていけば。宮崎 ほとんどいなくなるんじゃないか。寺澤 いなくなるでしょうね。キャリア警察官は消えてなくなる。大谷 いや、若手のキャリアには危機感を持ったやつもいるんだよ。危機感を持っていると思つ。しかしながら、その危機感は外的要因に対する危機感なんだよ。日本の犯罪事情がどうだとか、治安が悪化しているとか、凶悪犯罪の検挙率が低くなつているとか、こつこつ外的要因に対する一般的な危機感であつて、警察の内部に対しては、徹底して甘い。寺澤 それは甘いですよ。宮崎 内輪の問題になつたら、ヘナヘナとなつてしまつくらい、危機感が普遍性がないんだよ。今の若手のキャリアといふのは。

生ぬるいチェックでは 変わらない

警察の構造的な腐敗といふのは救いたいほど進んでいるといふのがみなさんの共通認識のよつですね。

寺澤 ボクは何十回でも言いますけれども、やつぱり警察を取り締まる警察でしよう。アメリカのように独立検察官みたいな機関でもいいですけどもね。我われ3人だけでもいいんじゃないですかね。たぶん100人くらいの警察官はつかまえられるでしょう。大谷 とりあえず絶対必要なのは外部監察ですよ。警察はこれをいちはん嫌つたろつけれどもね。これをやらないうために刷新会議といふのをつくつたわけだから。

完全に第三者的で、警察に対する捜査の権限も持つて、なおかつ直接の利害を持たないような人間で組織をつくらなければだめだと思つのですが。

大谷 完全な独立機関でなければだめですよ。要するに不祥事があつた段階では、検察庁に送検するのと一



”第二警察をつくつて
まともな警察官を吸収し、
そこからこぼれた人間は
警察清算事業団”送りに
しましよう(寺澤)

緒で、警察の身内で発生した事件について身内がなにか調査したら証拠いん滅の疑いがかかる、といふ制度にしちゃうわけですよ。不祥事がわかつた時点で警察は調査できないといふ独立機関をつくる。欧米でやつているようなものです。捜査権限も、ガサするの、全部こつちが権限を持っている。逮捕権を含めてね。こつちた監察機関を持つてないのは警察だけなんですよ。検察にはちゃんと適格審査会といふのも、裁判官も適格審査と弾劾裁判とふた通りあるわけじゃないですか。警察だけ外部に何にも持つてない。

宮崎 警察刷新会議がスタートする時に、外部監察を問題化するだろうといふ意識はみんなあつたわけだね。その時に亀井静香(警察官俸出身の衆議院議員)がいみじくも、警察のことが素人にわかるか、といふひと言を言いはなつて外部監察をつぶしたわけですよ。大谷 そして日本テレビの氏家齊一郎が酔つぱらつて、取り巻きの記者を相手に、泣いて頼みに來たつてしやべつちやつたよ。外部監察だけはこらえてくれと。あれはお調子者だからべらべらしやべつちやつたわけですよ。要するに外部監察だけはさせたくなかつたといふことがわかつちやつた。

寺澤 これ、またいくつか不祥事が

SCOP 19

車界の断層



警察腐敗の深さを考えると、
今は改善策を示す時期ではない(宮崎)

出てきて、やっぱり外部監察しかないというふうな方向にも行く可能性があるんじゃないですかね。

宮崎 だから、外部監察委員会というのをつくって我われが外部監察委員になろうよ。

寺澤 そうですね。実は、警察刷新会議が始まったときに、第二警察刷新会議というのをつくろうと思っただけですけど、くだんの刷新会議が意外と早く終わっちゃったから、そのときはちょっと間に合わなかったんですよ。

宮崎 ひとつの案として、外部監察委員会はあるよ。名乗ってしまえばいいんだもの。

寺澤 そうですよ。勝手に。

宮崎 寺澤を委員長にしてだね笑。
大谷 その、外部監察委員会から警察に問い合わせがあった場合には、警察は委員会の質問にせつたい答えなければならぬ、という制度にすればいい。

宮崎 「外部監察委員会ですけれど

も答えてください」と言えはいいいんだからさ。

大谷 答えなかったらすべて公表する。

宮崎 うん、そうだよ。インターネットでホームページをつくれればいいんだよね。それだけですむことだけれども、ボクは差し当たって、ホメ殺しをする。

寺澤 ホメ殺して何ですか。

宮崎 「少女のパンツの中をのぞいて、京都府警のお巡りさんはほんとに偉い」とか、そのつど徹底したホメ殺しをする(笑)。

寺澤 何ですか、それは(笑)。

宮崎 いや、それくらいのパワーが

ないとだめだよ。ノド元過ぎればな

んとやらで、批判が渦巻いている間は頭をすくめていて、またそろそろ出てくるというのを繰り返すだけ。徹底したホメ殺しをするというのが、ひとつの方法としてあるのじゃないかと思っただけです。

大谷 ちょうど神奈川県警の不祥事が出てもう1年たったんだよね。

宮崎 神奈川県警の不祥事1周年記念、よくこの1年頑張ったですね、というホメ殺しをすればいいわけだよ(笑)。

大谷 この1年間、不祥事が出続けているというのはいいいことなんですよ。これをメディアが息切れさせないで、もう1年やったら、「これはあかんわ」という話になってくると思う。ただ警察としては、ここらでメディアと手打ち(和解)しなかつたら大変だという意識になつていますよ。でも、けっこう毎日新聞あたりががんばっているからね。

まだ警察不祥事は 出てくるハズ

一連の不祥事では、警視庁が震

源地というのが少ないですね

大谷 それは隠しているばかりじゃないんですよ。彼らはかなり懲りているんですよ。とくに警視庁の内部に対する猜疑心というのはすごいから。ほんとに隠密で、人を人とも思わない捜査をしているから。同僚の机は引っぱがすね、預金は全部洗い出すね、尾行はするね、女のところには張り込むね。要するにこわいわけですよ、オウム真理教に情報が漏れていた例があったり、公安のスパイや過激派のスパイ、北朝鮮のスパイもこわいから警視庁はわりと不祥事の発覚が早いんですよ。一連の不祥事を見ていると、警視庁以外の警察から山ほど出ているでしょう。

寺澤 大谷さん、それはちょっと違うんじゃないの(笑)。警視庁の不祥事は多いと思いますよ。

宮崎 そりゃ警視庁がブラックボックスになつていいるのは不思議だ。さつき言った、外部監察委員会ができれば、そこに持ち込めばだいたいやれるというふうなスタッフをそろえておけば、ものすごい量の不祥事のタレ込みが来ると思うよ。

大谷 オレもいろんな座談会に出た

けど、今日のがいちばん過激だったなあ(笑)。

宮崎 いや、これでも抑え気味に話しているんだよ(笑)。

――必死なら本誌が発表の場を提供しますよ。本日はどうもありがとうございました。



”外部監察委員会”をつくらう、我われだけで警察官を100人はつかまえられるでしょう。